

大型車両用 環境型2液ウレタン塗料



大型車両塗装システム

COM-BOY
SYSTEM
コンボイシステム

強いエロー原色追加で更にグレードアップ!!

3105
HG エロー

0105
NEW サンシャインエロー



Isamu

3105 HGエロー



特長

- ・日塗工22-80X近似色原色で、従来の調色品の約2倍の隠ぺい性により塗装回数の低減が可能です。
- ・各種指定安全色等の調色に効果的な色相です。

(注)PRTR法届出対象製品

荷姿 16kg 3.5L

0105 NEW サンシャインエロー



特長

- ・0107サンシャインエローの約2倍の隠ぺい性により塗装回数の低減が可能です。
- ・各種指定安全色等の調色に効果的な色相です。

(注)PRTR法届出対象製品

※0107サンシャインエローとは若干色相が異なります。

荷姿 3.5L

塗装回数の低減 (危険色比)



使用方法

配合比 (重量比)

グレード	仕様	主 剤	硬化剤	シンナー
高外観グレード	ハイアートCBエコ 4:1 ハードナー仕様	100	25	20~40
標準グレード	ハイアートCBエコ 5:1 ハードナー仕様	100	20	20~40
2色塗り・3色塗り 最速仕様	ハイアートCBエコ 5:1 テーピングハードナー仕様	100	20	20~40
低コストグレード	ハイアートCBエコ 10:1 ハードナー仕様	100	10	20~40

※上記配合比は、ソリッド色の場合です。メタリック・パール色及びクリヤーは、別途ご確認ください。

可使時間

	20℃	30℃
4:1 ハードナー標準	3 時間	1.5 時間
5:1 ハードナー標準	4 時間	2 時間
5:1 テーピングハードナー	2 時間	0.5 時間
10:1 ハードナー標準	4 時間	2 時間

※調査後はできるだけ早く使用してください。

※硬化剤は使用後すぐに密栓し冷暗所に保存してください。

乾燥時間

	指触乾燥 (20℃)	テーピング可能時間 (20℃)	強制乾燥 (60℃)
4:1 ハードナー標準	20分	6 時間	30分
5:1 ハードナー標準	10分	6 時間	30分
5:1 テーピングハードナー	10分	3 時間	10分
10:1 ハードナー標準	6 分	6 時間	30分

ハードナー選定参考表

		5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	40℃
4:1 ハードナー	速乾								
	標準								
	遅乾								
5:1 ハードナー	速乾								
	標準								
	遅乾								
5:1 テーピングハードナー	速乾								
	標準								
	遅乾								
10:1 ハードナー	速乾								
	標準								
	遅乾								

※上記表を参考に、塗装条件・塗装面積に応じて選定してください。

シンナー選定参考表

	0℃	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	40℃
ハイアートCBエコ シンナー 5									
ハイアートCBエコ シンナー 10									
ハイアートCBエコ シンナー 20									
ハイアートCBエコ シンナー 30									
ハイアートCBエコ シンナー 40									
ハイアートCBエコ リターダー (30%以内)									

※リターダーはシンナー希釈量のうち30%以内で使用するください。
※上記表を参考に、塗装条件・塗装面積に応じて選定してください。

使用にあたっての注意

■作業上の注意

1. 塗料・スプレーミストを皮膚や粘膜に付着させない
●作業着・手袋・フード付帽子などで、皮膚などに直接付着しないように保護してください。
●保護メガネを必ずかけてください。目に飛沫が入った時は、すぐに大量の水で洗い流し、ただちに専門医の手当を受けてください。

2. スプレーミストを吸い込まない

- 塗装の際、JIS T8153に適合し労働大臣の行う形式検定に合格した送気マスクを必ず着用してください。

■イソシアネートの毒性について

1. スプレーミストの吸入による中毒症状

軽症: 不快感・頭痛・咳 中症: 喉頭炎・同じ様な症状
重傷: ぜんそく状の気管支炎を伴う発作

2. 皮膚に触れた場合の炎症

塗料・スプレーミストが直接皮膚に触れると、赤くはれるなどの炎症を起こす場合があります。

3. 一度中毒症状になると再発しやすい

一度中毒・炎症を起こしたりすると、過敏になり再発しやすくなる傾向があるので注意してください。
気管支炎になりやすいなど呼吸器系が敏感な人や既往症のある人、皮膚カブレの出やすい人、アレルギー質の人は、作業には従事しないでください。

■容器のふたを必ず閉める

1. 硬化剤: 硬化剤は空気中の湿気・水分と反応するので、使用時以外は必ずふたをして、湿気・水分との接触を避けてください。

2. 主剤: 主剤は使用時以外は必ずふたをして、溶剤の揮散を避けてください。

※取扱いに際しては、安全データシート(SDS)に従ってください。

※カタログ記載の内容は、2018年6月現在の情報です。カタログの内容は予告なしに変更となる場合がございます。予めご了承ください。

ISAMU イサム塗料株式会社

東京支店 〒335-0014 埼玉県戸田市喜沢南1-5-37 TEL:048(444)0136 FAX:048(444)0138
名古屋支店 〒452-0824 名古屋市西区こも原町82 TEL:052(502)0136 FAX:052(502)0174
大阪支店 〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南3-9-8 TEL:06(6308)1363 FAX:06(6308)1348
福岡支店 〒811-2304 福岡県粕屋郡粕屋町仲原2777-1 TEL:092(611)1360 FAX:092(623)8430
仙台出張所 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-2-21 TEL:022(206)6136 FAX:022(208)5136
滋賀工場 〒525-0072 滋賀県草津市笠山8-2-1 TEL:077(562)1360 FAX:077(562)1364
札幌 TEL:011(823)1360 広島 TEL:082(291)1234

<http://www.isamu.co.jp>

自動車補修用塗料の総合サイト <http://haigo.jp> 配合 Jp

カタログNo.AA-101-18-06

10-20E